



MULTI CHEF

マルチシェフ

2.0L 容器容量

ブレンダー

品番 MC-2000BLR

取扱説明書



業務用

目次

食材処理量のめやす	1
安全上のご注意	2～6
各部の名称と付属品	7
基本操作	8～10
使い方	11～12
清掃と洗浄	13
故障かなと思ったら / 仕様	14
保証とアフターサービス	裏表紙

このたびは ブレンダー MC-2000BLR
をお買い上げいただき、誠にありが
とうございます。正しくご使用いた
だくためにご使用前に必ずこの取
扱説明書をよくお読みください。

お読みになった後はいつも手元
に置いてご使用ください。

本製品は日本国内専用に設計さ
れていますので、
国外での使用はできません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

食材処理量の目安

ブレンダーは水分（液体）と一緒にジュースやピューレ状にするような作業に適した電気調理器具です。

加工できる分量、ポイントを記載します。

	最大量	ポイント
ドレッシング	1.3L	
スープ	1.5L	熱い食材を加工する場合、蒸気や食材が吹き出すことがありますので、注意してください。
ジュース	1.5L	状況に応じてスティックブッシャーをご使用ください。
スムージー	1.5L	
うどん	900 g	熱い食材を加工する場合、蒸気や食材が吹き出すことがありますので、注意してください。
おかゆ	900g	
シューマイと野菜の煮物	1.4 k g	

※上記分量はめやすになります。

ご使用の食材状況にもよりますので、ご使用いただくなかで食材の量を減らし調整してください。

安全上のご注意

必ずお守りください。

このブレンダーは水など液体と一緒にジュースやピューレ状にするような、かくはん作業に適していますが、フードプロセッサー・フードカッター・ドライミルの機能はありません。そのため、下記に記載するような食材には使用できません。故障・損傷の原因になりますのでおやめください。

禁止食材（例）	
ロックアイス	アイスクラッシャーではありませんので、ロックアイスの粉砕はできません。 (冷凍庫で作った角氷は粉砕出来ませんが、氷の破片が残る場合がございます。角氷は約 2.5cm 角以下のものを使用し、200g 以上は入れないでください。)
完全に冷凍された果物・野菜	冷凍された食材は、半解凍してからご使用ください。
肉・魚類	挽肉作りなどにはご使用できません。
泡立てや生地作り	卵白の泡立て、生クリームのホイップ、パン、ケーキ、パイ生地作りなどにはご使用出来ません。

以下の食材は必ず液体と一緒にかくはんしてください。

単独での使用禁止食材（例）	
粘り気の強い食材	ゆでたじゃがいも、長いも、とろいも、はちみつ、水あめ等
乾物および固形物	パルメザンチーズ、乾燥昆布、朝鮮人参、乾燥大豆、穀類、乾物、煮干し、ごま、コーヒー豆、アーモンド、干しいたけ等

⚠ 注意

- 長時間のご使用や過負荷運転による本体内部の異常加熱によりサーモスタットが作動し、運転が止まる場合があります。またモーターの回転が止まるなど本体に過電流が流れた場合、運転が自動停止する場合があります。運転が停止してしまったときは、操作スイッチを OFF してから再度操作スイッチを ON にし、動作するか確認してください。

操作スイッチを OFF にしてから、再度操作スイッチを ON にして動作する場合の対処方法 (過電流保護装置により停止)

- ①ボトルを本体から外し、食材を減らす。
- ②ボトルを再度取付け、操作スイッチを ON し再度調理する

操作スイッチを OFF にしてから、再度操作スイッチを ON にしても動作しない場合の対処方法 (サーモスタットにより停止)

- ①操作スイッチ、主電源スイッチを OFF にして電源プラグをコンセントから抜く。
- ②ボトルを本体から外す。
- ③本体を 30 分以上自然冷却する。

安全上のご注意 表示の意味

必ずお守りください。

- ご使用になる前に「安全上のご注意」をよくお読みになり、必ずお守りください。
- 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 死亡や重症を負うおそれがある内容です。

 **注意** 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれのある内容です。

物的損害※とは、家屋、家財および家畜、ペットにかかわる拡大被害を示しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で示しています。

 してはいけない「禁止」内容です。

 実行しなければならない「強制」内容です。

※お読みになられた後は、必ずいつでも見られる所に保管ください。

 警告		
	●絶対に自分で分解、修理、改造をしない。	(火災・感電・発火・けがの原因) ●修理は販売店または当社修理センターにご相談ください。
	●モーターベースを水につけたり、水をかけたりしない。	(ショート・感電・故障の原因)
	●モーターベースの水洗いは絶対にしない。	(ショート・感電・故障の原因)
	●火気の近くでは使用しない。	(故障・火災の原因)
	●お子様など、取り扱いに不慣れな方だけで使用させない。 乳幼児の手の届く所で使用しない。	(感電・けがの原因)
	●電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。 傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物をのせたり、束ねたり、挟み込んだりしない。	(感電・ショートによる発火・火災の原因)
	●電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。	(感電・ショートによる発火・火災の原因)

安全上のご注意

必ずお守りください。

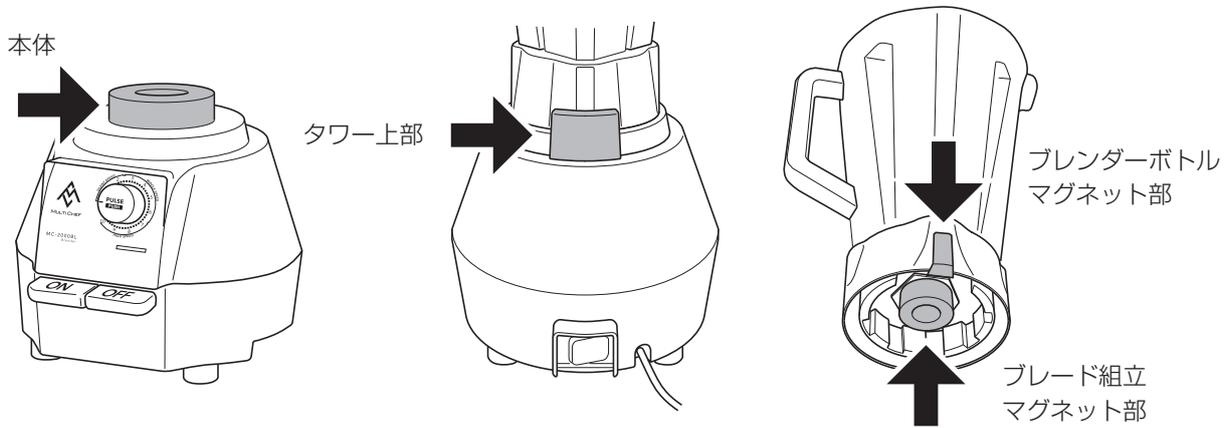
警告

	●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外で使わない。	(発熱による火災の原因)
	●運転中にブレンダーボトルの中へ指、はし、スプーンなど調理材料以外を入れない。	(けが・故障の原因)
	●濡れた手でスイッチ操作、電源プラグの抜き差しをしない。	(ショート・感電の原因)
	●スイッチに衝撃を与えない。	(故障・感電の原因) ●製品を落としたりぶつけたりした場合は、ただちに使用を中止し、当社修理センターへご連絡ください。
	●ブレード組立を露出したままで運転しない。	(けがの原因) ●ブレードが露出したままで電源プラグを差し込まない。
	●使用前・使用後は必ず本体・部品の点検をおこなう。 破損・ヒビ割れを発見した時は使用しない。	(けが・故障・事故の原因)
	●塩素系成分を含んだ洗剤・漂白剤は使用しない。	(塩素系成分を含んだ洗剤を使用すると錆が発生し、ブレードなど金属の破損・ヒビ割れの原因)
	●煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用しない。	(火災・感電の原因)
	●万が一、本機を落としたり、破損したりした場合はまず電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社修理センターに相談する。	(そのまま使用すると火災・感電の原因)
	●心臓ペースメーカー等の電子医療機器を装着した人へ本体を近づけない。	(けがや事故の原因) ●大変危険ですので絶対にお止めください。 10 cm以内は影響を及ぼす可能性があります。
	●電源プラグは根元まで確実に差し込む。	(感電・火災の原因)
	●部品の取り付け・取り外しやお手入れをするときは電源プラグを抜く。	(感電・けがの原因)

安全上のご注意 マグネット部の取扱い

必ずお守りください。

当製品は下記の箇所にマグネットが使用されています。



警告

	<ul style="list-style-type: none"> ●モーターベースのタワー部にマグネットやマグネットを使用した製品をはじめ磁気を帯びているものはすべて近づけない。 	(けがの原因) <ul style="list-style-type: none"> ●モーターベースのタワー部にあるスイッチが誤作動を起こす恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●ブレンダーボトルのマグネット部をモーターベースにセットする時以外にモーターベースのタワー部へ近づけない。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●ブレンダーボトルから取り外したブレード組立をモーターベース上部に置かない。近づけない。 	(けがの原因) <ul style="list-style-type: none"> ●ブレード組立がモーターベースの磁力に引かれ、ブレードでけがをする恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●金属製の包丁やナイフ等をブレード組立マグネット部やモーターベース上部に近づけない。 	(けがの原因) <ul style="list-style-type: none"> ●刃物が磁力に引かれ、けがをする恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●使用後、ブレード組立マグネット部に手で直接触らない。 	(けがの原因) <ul style="list-style-type: none"> ●長時間の連続使用や過負荷な状態が続いているとブレード組立マグネット部が熱を帯びる場合があります。手で直接触らないようご注意ください。

安全上のご注意

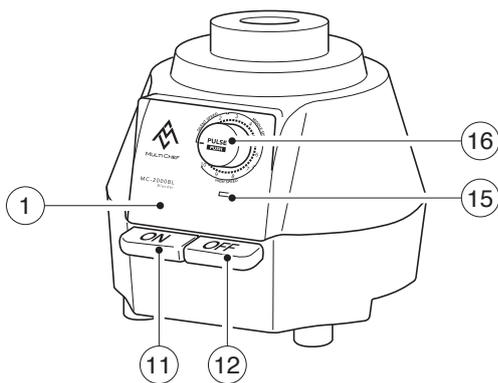
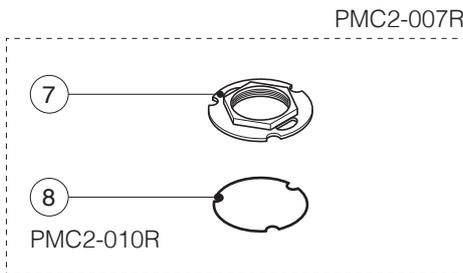
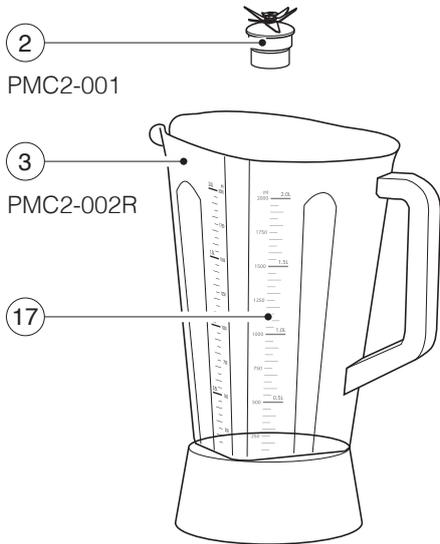
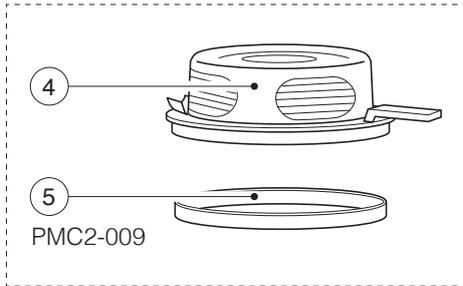
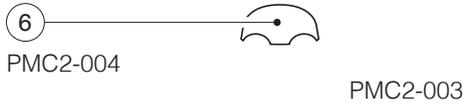
必ずお守りください。

注意

	●運転中に移動させない。	(けが・故障の原因)
	●ブレンダーボトルに定格容量(1500ml)以上の食材を入れない。	(ふきこぼれ・故障の原因) ●食材によって処理容量は違います。「食材処理量のめやす」(1ページ)を参照ください。
	●不安定なところでは使用しない。	(転倒・落下などによる破損・故障やけがの原因)
	●不用意にスイッチを動かさない。	(けがの原因)
	●から運転は絶対にしない。	(破損・故障の原因)
	●ドライアイスやロックアイスの粉碎、水分の少ない固形物だけの粉碎はしない。	(破損・故障の原因)
	●運転中にブレンダーボトル、ボトルカバーの取り付け、取り外しは行わない。	(けが・故障の原因)
	●刃は鋭利なため、直接手を触れない。	(けがの原因)
	●付属している専用部品以外は使用しない。	(故障の原因)
	●調理以外に使用しない。	(故障の原因)
	●長時間の連続運転はしない。	(故障の原因) ●連続して使用する場合は4分ごとに2分以上休ませる。
	●ブレンダーボトルを電子レンジやオーブンに入れない。	(破損の原因)
	●ブレンダーボトルにブレード組立を取り付けた状態で食材を入れて保存しない	(部品の劣化や故障の原因) ●調理後はボトルから食材を取り出して洗浄してください。
		●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持つ。
●操作スイッチ、主電源スイッチを「OFF」にしてから電源プラグを抜き差しする。		(けがの原因)
●使用時以外は、主電源スイッチをOFFにする(電源ランプが消灯します)か電源プラグをコンセントから抜く。		(感電・火災の原因)
●モーターベースから異常音が発生した場合等は直ちに運転を停止する。		(販売店または修理センターまでご相談ください。)
●熱い食材をかくはんする場合は、蒸気などの吹き出しに注意する。		(けがの原因) ●熱い食材をかくはんする場合、蒸気や食材が吹き出すことがありますので、入れすぎなどに注意してください。

各部の名称と付属品 (購入部品番号)

※部品購入の際は下記の各部品番号をご指定ください。



【本体】

①モーターベース

【部品】

- ②ブレード組立
- ③ブレンダーボトルR
- ④ボトルカバー
- ⑤ボトルカバー用パッキン
- ⑥ボトルカバーキャップ
- ⑦ブレード固定リング
- ⑧ブレード固定リング用パッキン

【付属品】

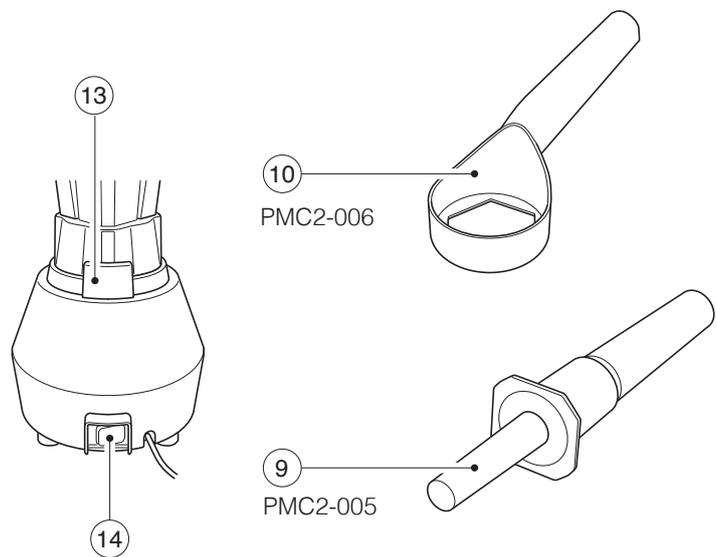
- ⑨スティックプッシャー
- ⑩ブレード組立脱着治具

【各部の呼称】

- ⑪操作スイッチ「ON」
- ⑫操作スイッチ「OFF」
- ⑬タワー部
- ⑭主電源スイッチ
- ⑮電源ランプ
- ⑯パルススイッチ/スピードダイヤル
- ⑰目盛り

⚠ 注意

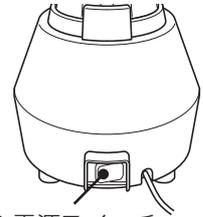
- 1500ml を超える食材は入れない。
- 刃は鋭利なため直接手を触れない。
(けがの原因)
- ブレード組立、ブレード固定リングがセットされたブレンダーボトルを本体にセットし、主電源スイッチを ON にしないと操作スイッチを押しても動作しない構造になっています



基本操作

主電源スイッチについて

ご使用時は電源プラグをコンセントにさし、モーターベース後方にある主電源スイッチを ON にします。主電源スイッチを ON にするとモーターベース正面にある電源ランプが点灯します。この状態でブレンダーボトルが正しくセットされていますと操作スイッチで作動させることができます。



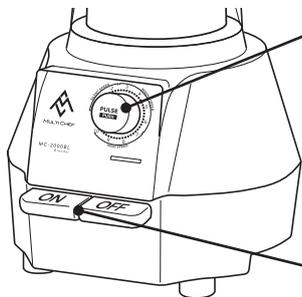
主電源スイッチ



注意

- 使用時以外は主電源スイッチを OFF にするか、主電源スイッチを OFF にしてから電源プラグをコンセントから抜く。

操作スイッチについて



● PULSE (パルス) スイッチ / スピードダイヤル

ダイヤルを回し、スピードを調整出来ます。またダイヤルを押すと押ししている間だけ断続運転をします。

●調理中に音を抑えたい場合

回転数を落としても調理に支障がない限り「SILENT SPEED」の範囲で運転してください。

●連続運転の前に PULSE 運転を使うことをお勧めします。

材料のかくはんを助け、効率よく混ぜ合わせることが出来ます。

※ PULSE 時は最大回転数となります。

●操作スイッチ (ON / OFF)

ON を押すことで連続運転します。

OFF を押すことで運転を停止します。



警告

- 運転を停止しボトルカバーを開けて食材を確認する時など、誤って PULSE (パルス) スイッチや操作スイッチ (ON) を押さないように十分注意してください。(けがの原因)



注意

- 長時間のご使用や過負荷運転による本体内部の異常加熱によりサーモスタットが作動し、運転が止まる場合があります。またモーターの回転が止まるなど本体に過電流が流れた場合、運転が自動停止する場合があります。運転が停止してしまったときは、操作スイッチを OFF してから再度操作スイッチを ON にし、動作するか確認してください。

操作スイッチを OFF にしてから、再度操作スイッチを ON にして動作する場合の対処方法 (過電流保護装置により停止)

- ①ボトルを本体から外し、食材を減らす。
- ②ボトルを再度取付け、操作スイッチを ON し再度調理する

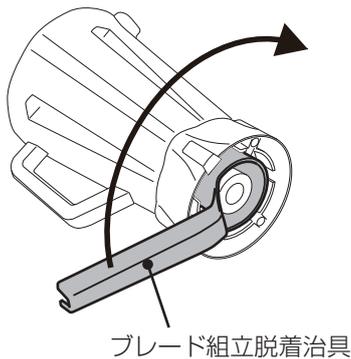
操作スイッチを OFF にしてから、再度操作スイッチを ON にしても動作しない場合の対処方法 (サーモスタットにより停止)

- ①操作スイッチ、主電源スイッチを OFF にして電源プラグをコンセントから抜く。
- ②ボトルを本体から外す。
- ③本体を 30 分以上自然冷却する。

基本操作

ブレードの取り外し

- 1 安定した台等にブレンダーボトルを横に置き、ブレンダーボトル底面のブレード固定リングにブレード組立脱着治具を合わせ、時計回りに回します。

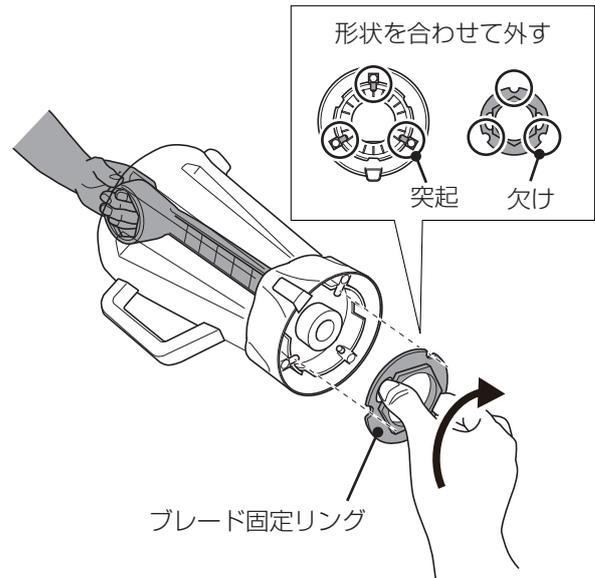


- 2 ブレード固定リングが少しゆるんだら、ブレード組立脱着治具をリングから一旦外し、図のように柄部分先端にブレード組立をひっかけます。



ブレード組立の中心部は少し楕円形になっております。ブレード組立脱着治具の柄部分先端をブレード組立の中心部にひっかける際は、楕円形の細い方からブレード組立脱着治具の柄部分先端を合わせて、回転させてひっかけて安定させてください。

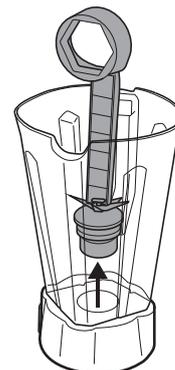
- 3 ブレード組立脱着治具でブレードを押さえながら、ブレード固定リングを時計回りに回し、ブレンダーボトル底面の突起とブレード固定リングの欠けを合わせて外します。



⚠ 注意

- ブレード組立脱着治具でブレード固定リングを完全に外してしまいますとブレード組立がブレンダーボトル内に脱落し、けがや部品が破損する場合がありますので十分注意してください。

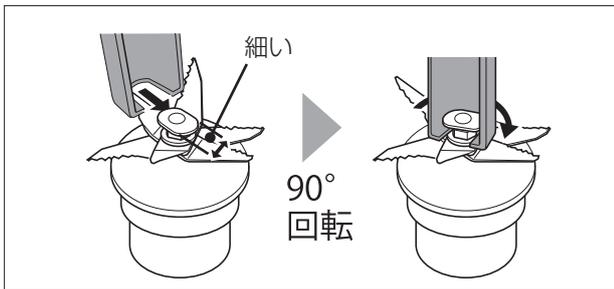
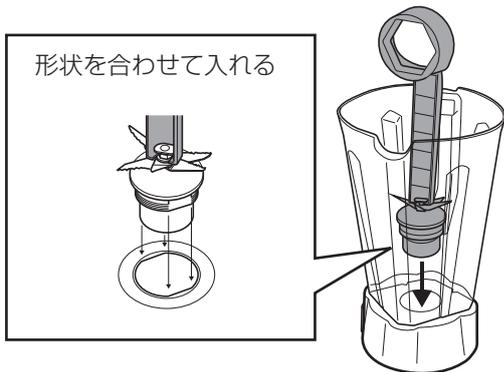
- 4 ブレード組立脱着治具の柄部分先端をブレード組立の中心部にひっかけたまま、ブレンダーボトルを立てて引き抜きます。



基本操作

ブレードの取り付け

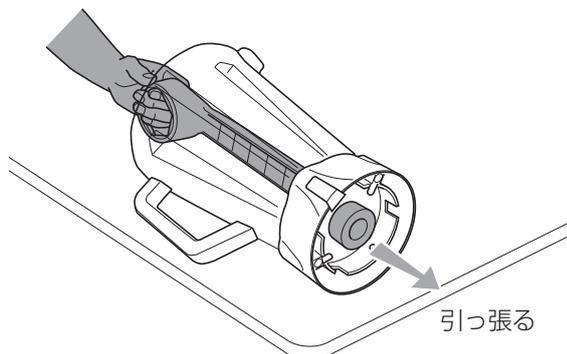
- 1** 安定した台等にブレンダーボトルを縦に置き、ブレード組立脱着治具の柄部分先端にブレード組立をひっかけ、ブレンダーボトル底面にあるブレード組立装着位置とブレード組立の形状を合わせて、ゆっくり上からはめ込みます。



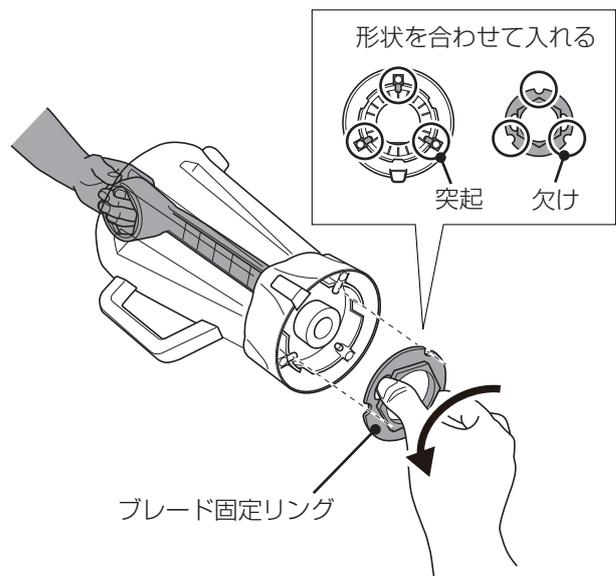
ブレード組立の中心部は少し楕円形になっております。ブレード組立脱着治具の柄部分先端をブレード組立の中心部にひっかける際は、楕円形の細い方からブレード組立脱着治具の柄部分先端を合わせて、回転させてひっかけて安定させてください。

ブレード組立の脱落や刃先に十分注意してください。

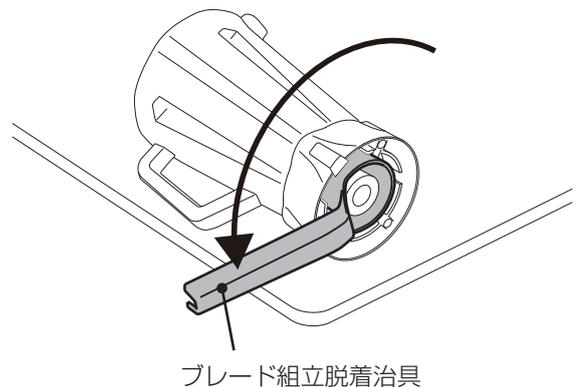
- 2** ブレード組立脱着治具の柄部分先端にブレード組立をひっかけたままブレンダーボトルと一緒に安定した台等に横置きし、ブレード組立の下側を引っ張り安定させてください。



- 3** 片手でブレード組立脱着治具持ち、ブレードを安定させます。もう一方の手でブレード固定リングの欠けをブレンダーボトル底面の突起と合わせるようにはめ込み、ブレード固定リングを反時計回りに回しつけます。



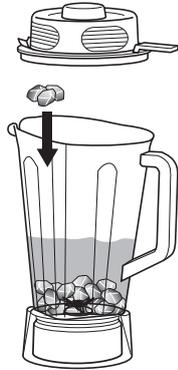
- 4** ブレード組立脱着治具をブレードから、図のようにブレンダーボトル底面のブレード固定リングに合わせ、反時計回りに回します。



ブレンダーボトルにブレード組立がきちんと装着されたかの確認のため、装着後ブレンダーボトルに水を入れ、漏れがないか確認し、すすいでください。

使い方

- 1 材料をブレンダーボトルへ入れ、ボトルカバーを装着する。

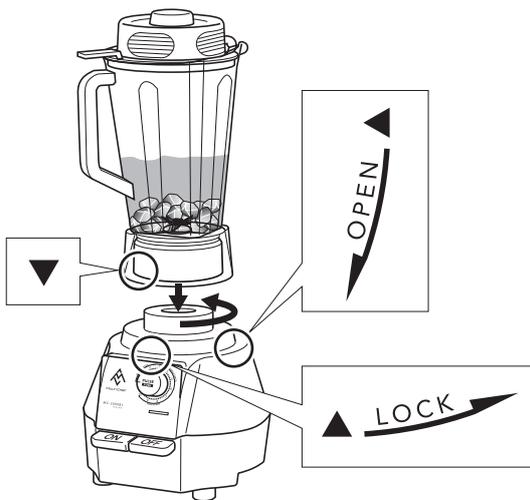


材料は、液体→やわらかい材料→かたい材料の順番で入れる。

⚠ 注意

- 1500ml を越える食材は入れない。

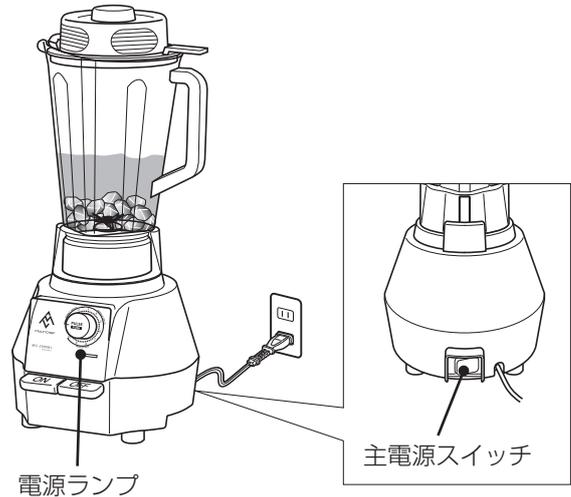
- 2 操作スイッチ、主電源スイッチが off になっていることを確認してから、ブレンダーボトルの取っ手を本体正面 6 時の位置（ブレンダーボトルのハンドル下にある▼をモーターベースの正面にある▲に合わせる）から反時計回りに回し（ブレンダーボトルのハンドル下にある▼をモーターベースの右にある▲に合わせる）固定する。



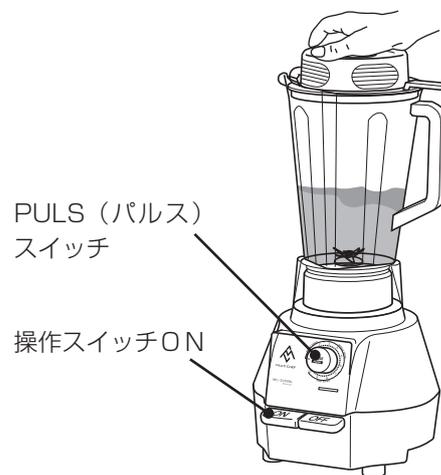
⚠ 注意

- ブレンダーボトルは 1 方向にしか装着出来ません。ご注意ください。

- 3 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込む。主電源スイッチを ON にし、電源ランプ点灯したことを確認する。



- 4 ボトルカバーを押さえながら PULSE（パルス）スイッチを数回押し、その後操作スイッチを ON にしスピードダイヤルをお好みのスピードに設定しかくはんする。



- 5 出来上がったら操作スイッチ OFF を押し、運転を止め、主電源スイッチを OFF にする。



使い方

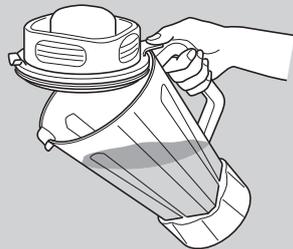
6 ブレードの回転が完全に止まっていることを確認し、ブレンダーボトルを時計回りに回し、本体から外す。



7 ボトルカバーを外して調理物を取り出す。



ボトルカバーのつまみを親指で押さえることでボトルカバーを外さずに注ぐことも出来ます。

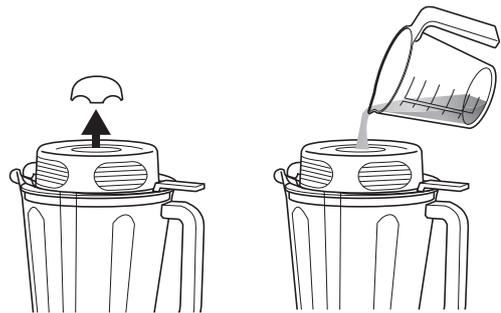


⚠ 注意

- ボトルカバーのつまみを押さえて注ぐ場合、ボトルカバーの落下にご注意ください。また調理物が熱い場合、やけど等に十分注意してください。

■ ボトルカバーキャップについて

水分など追加するときは、キャップを取り外しボトルカバーの中央の穴から注ぐことができます。運転中は食材がとび散ることがありますのでご注意ください。



■ スティックプッシャーについて

調理中、食材がブレンダーボトル内で回転していない場合は、ボトルカバーが定位置に固定されていることを確認し、注意してボトルカバーキャップを外してください。ボトルカバーの開口部からスティックプッシャーを挿入して食材に上から圧力をかけるようにしてください。

必要に応じてスティックプッシャーをブレンダーボトルの隅や側面にも向けてください。



⚠ 注意

- スティックプッシャーをご使用になる場合、ブレンダーボトル容量の2/3以上食材を入れない。スティックプッシャーを継続して30秒以上使わない。

清掃と洗淨

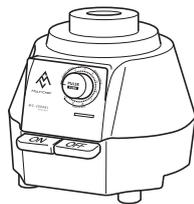
お手入れの前に必ず操作スイッチ、主電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

- **本体の水洗いは絶対にしない。**
(ショート・感電・故障の原因)
- **台所用中性洗剤(中性)とやわらかいスポンジを使う。**
※シンナー類、クレンザー漂白剤、ナイロンたわし、化学ぞうきん等は使用しない。
(変色・破損・故障の原因)
- **80℃以上の湯、食器洗淨機・食器乾燥機類は使用しない。**
※高温により樹脂の劣化が早まります。

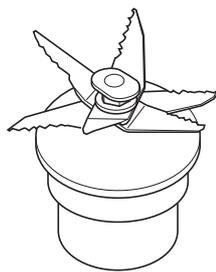
モーターベース

湿った布でふき取ります。
汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤を含ませた布でふき取った後、乾いた布でふきます。



ブレード組立

ブレードは柄のついたブラシに中性洗剤をつけて洗い十分に真水ですすぎ、よく乾かします。

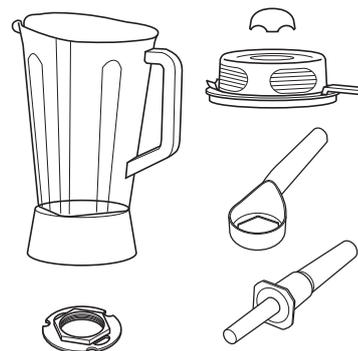


⚠ 注意

- **ブレード組立には鋭い刃が付いているため、取り扱いには十分注意する。**
(ブレード組立は調理後の材料をつけたままにしておくと、腐食やサビの原因になります。調理後はその都度取り外してよく洗い、十分に乾燥させてください。)

ブレンダーボトル、ボトルカバー、キャップ、スティックプッシャー

中性洗剤を含ませたスポンジなどで洗います。



【除菌対策】

洗淨後に乾燥した各部品をアルコールスプレーするなど、除菌対策を行ってください。

⚠ 注意

- **ブレンダーボトルに調理後の材料を入れたままにしておかない。**
(調理後はその都度取り外してよく洗ってください。)
- **ブレンダーボトルにブレード固定リング、ブレード組立が装着された状態で水の中に漬込まない。**
(劣化を早めます。)
- **各部品は乾かしてから取り付ける。**
(ぬれたまま取り付けると劣化を早めます。)

故障かなと思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。
なお、アフターサービスについては裏表紙をご覧ください。

こんなとき	原因	対処の仕方
スイッチが入らない	電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。
	主電源スイッチは ON になっていますか。	主電源スイッチを ON にしてください。
	ブレンダーボトルがモーターベースに正しくセットされていますか。	しっかりと取り付けてください。
ブレードが回転しない。	材料が多すぎ（大きすぎ）ませんか。	量を減らしてください。 小さく切り直してください。
ブレードが空回りする。 ↓ 操作スイッチ、主電源スイッチを OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。	ブレンダーボトルの壁面に材料が張り付いていませんか。	スティックプッシャーを使用する。運転を停止し、へらなどでボトルについた、食材を落とします。
	材料が上下に分離していませんか。	ボトルを本体から外して上下に振り、食材を混ぜ合わせてください。
	材料が少なすぎませんか。	材料を増やしてみてください。
	材料が大きすぎませんか。	パルス操作で少し粉碎してから連続運転で試してみてください。
回転が止まるまたは、遅くなる ↓ 操作スイッチ、主電源スイッチを OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。	材料が大きすぎませんか。	小さく切り直してください。
	ブレンダーボトルがモーターベースに正しくセットされていますか	正しくセットし直してください。
	ブレード組立とブレンダーボトルの間に材料がはさまっていませんか。	材料を取り除いてください。
サーモスタットが働いて回転が止まった ↓ 操作スイッチ、主電源スイッチを OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。30 分以上自然冷却し、サーモスタットを復帰させます。	材料を入れすぎていませんか。	量を減らしてください。
	負荷がかかりすぎていませんか。	粘り気の強いもの・水分の少ないもの・かたいものなど、禁止材料はブレードの破損やモーター故障の原因になりますのでおやめください。
	材料が大きすぎて、ブレードがロックしていませんか。	ロックしている材料を取り除いてください。
	長時間繰り返し運転していませんか？	本体を 30 分以上自然冷却して休ませてください。
材料がもれる	ブレード組立の取り付けが緩んでいませんか。	ブレンダーボトルにブレード組立をしっかりと取り付けてください。
	材料を入れすぎていませんか。	量を減らしてください。

仕様

品名	マルチシェフ ブレンダー
形名	MC-2000BLR
大きさ（約）	幅 230 x 奥行き 270 x 高さ 515 mm（ボトル装着時）
質量（約）	6kg（ボトル装着時）
定格電源	AC100V 50Hz/60Hz
定格消費電力	930W
定格容量	1.5L
容器容量	2.0L
定格時間	15 分
電源コード長（約）	2.15m

保証とアフターサービス

1. 保証書について

お買上げ日、販売店などの記入を必ず確かめ、お買上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

2. 保証期間：お買上げ日より1年間です。

お買い求めになってから1年間は保証書記載の内容に基づき無料修理いたします。
保証書と納品書もしくは領収書をご提示ください。
保証はモーターベースのみ。部品の保証はございません。
※モーターベース以外の付属品は消耗品です。

3. 修理をご依頼されるとき

*保証期間中は、製品と保証書、納品書もしくは領収書を販売店にご持参ください。
*保証期間が過ぎているときは、販売店にご相談ください。
修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の最低保有年数期間は、製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を持続するために必要な部品です。

5. その他、ご不明な点がある場合のお問い合わせ

ご転居やご贈答品などで販売店のサービスが受けられない場合や、ご不明な点がある場合は、
下記のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口

●製品の不具合・故障・修理のお問い合わせ

株式会社ゼリックコーポレーション 修理センター

050-5358-4803

9:00 - 17:30 (土日・祝日を除く)

修理品の送付先は修理センターでの受付時にご案内申し上げます。

●使い方・その他、製品についてのお問い合わせ

株式会社ゼリックコーポレーション
カスタマーセンター係

〒111-8682 東京都台東区寿4丁目1番2号

TEL/03-3844-8181 FAX/03-3847-3957

9:00 - 12:00 13:00 - 17:00
(土日・祝日を除く)

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱い

株式会社ゼリックコーポレーションおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある

場合を除き、第三者に提供しません。

お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。
当社の個人情報の取り組みについては、当社ホームページのプライバシーポリシーよりご覧いただけます。

マルチシェフ ホームページ <https://multichef.jp/>

愛情点検



ご使用の都度、ブレンダーの点検をお願いします。

こんな症状はありませんか

- スイッチ類を「ON」にしても動かないときがある。
- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。
- モーターの回転が止まったり遅かったり、不規則なときがある。
- 運転中に異常な音がある。
- その他の異常・故障がある。
- 本体または部品が破損している。

使用中

故障や事故防止のため、スイッチ類を「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜き、お買上げの販売店または当社修理センターまで点検・修理をご相談ください。

輸入元／株式会社 三栄コーポレーション

発売元／株式会社 ゼリックコーポレーション

〒111-8682 東京都台東区寿4丁目1番2号